

# 那賀町議会から お知らせ



那賀町議会：ホームページアドレス  
http://www.town.tokushima-naka.lg.jp/gikai/

平成30年12月定例会議

## 一般質問から

主な質問とこれに対する町長等の

答弁の要旨は次のとおりです。



### 山崎篤史副議長

#### 導入済木粉ボイラーの件について

Q 那賀町の林業振興のために必要であると、もみじ川温泉・四季美谷温泉に木粉ボイラーを導入している。①稼働実績はどのようになっているか。②当初の目標値との比較はどうか。③費用対効果をどう考えているか。

#### 西本忠司林業振興課長

A ①もみじ川温泉では平成28年度に75・14立米、平成29年度36・67立米、平成30年度はゼロとなっている。四季美谷温泉は試験運転以外の実績は無い。②平成29年度から、もみじ川温泉500立米、四季美谷温泉500立米となっている。③耐用年数が13年と長いこともあり、改善に向け模索している状況である。

#### 那賀町の交通手段の件について

Q 那賀町はバス運行継続のために補助をしているが、高齢者の交通手段として利用しやすいとは言えない。①それを補完する手段としてのタクシー事業者の現状はどうなっているか。②タクシーが必要と考えるか、補助策はどうか。③補完策はないか。

#### 武田卓士住民課長

A ①タクシー業者は5業者。利用状況は外出支援サービス事業、地域医療確保・充実に関するアンケート結果を紹介。②バスの補完として必要。外出支援サービス事業を月4回から月8回に拡充している。③新規開業するには車両が5台必要。他にボランティアタクシーが考えられる。

#### 農業振興の件について

Q 那賀町相生は万年青・ケイトウ等の有数の産地であるが、生産者の確保・産業の継承という観点から、行政の果たすべき役割は大きい。①生産者数の推移はどうなっているか。②共同選果（花）施設の整備はどうか。

#### 吉岡敏之農業振興課長

A ①相生の花は、生産者数・出荷数量共に年々減少している。産地維持のため生産部会に対し種々の補助を行っている。②共撰の特徴を理解した上で、共撰を実施したいという要望があれば、できる限りの支援は行いたい。



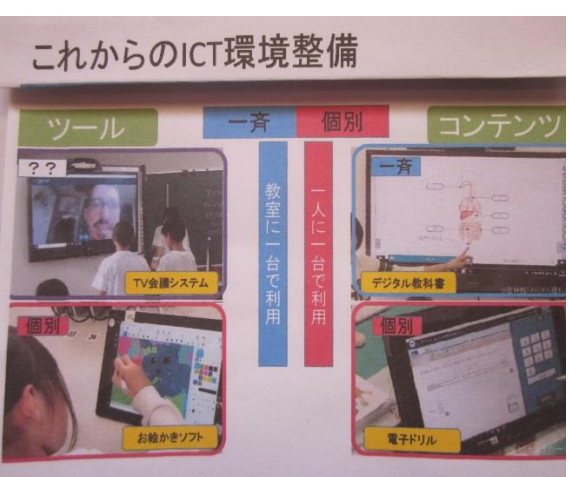
### 田村信幸議員

#### ICT導入後の各校取り組み状況と今後の展望について

Q 9月に学校現場に導入されたiPadの活用についての現状と今後の課題、また10月の町内上流部学校視察における各校の要望についての施策をどのように講じるか。

#### 岡川雅裕教育長

A タブレットを有効なツールとして利用できる指導や研修を引き続き実施する。支援員についてもアナテナを広く高くして探す。電子黒板の追加要望は、早急に手当てする。その他の案件は、財政当局と相談する。



#### 地域おこし協力隊員の今後の募集計画と募集業務策定までの経緯、運営組織について

Q 様々な業務に携わり貢献している「地域おこし協力隊員」であるが、他の業務の要望もある。そこで募集業務策定までの工程や地域ニーズの把握をどのよ

うな運営組織で行っているのか。

#### 三好俊明まち・ひと・しごと戦略課長

A 副町長を隊長とし、管理職5名が副隊長、アドバイザーに徳大教授、受け入れを10団体のサポートにより行い、支所単位で要望を取りまとめ、要望の趣旨を原則とした業務内容としている。

#### 県が進める「スマート回廊地域創造事業」における那賀町の関わり、本町の現状と今後の展望について

Q 平成28年度よりの「スマート回廊地域創造事業」の、これまでの状況と今後の展望について。

#### 西田暁信にぎわい推進課長

A 平成28年7月より「スマート回廊地域創造事業推進委員会」を設置して、地域イベントを実施し周辺地域はもとより、那賀町全体の活性化を推進している。今後は、既存の観光資源をスマート回廊と連携を持たせ、相乗効果により交流人口の増加へ繋がるよう推進する。

#### 坂口博文町長

A スマート回廊事業は、県企業局とお互いに職員を派遣して、連携を取りながら観光を含め産業振興にも役立てていく。



### 静好洋議員

#### 過疎地給油所対策について

Q 給油所対策として「どこでもスタンド」と呼ばれるタンクローリー直結型の簡易給油所、また大型コンテナを使った地上設置型の簡易給油所などがあるが、町はどのような対策を考えているか。

#### 坂口博文町長

A 簡易給油所またはタンクローリーについては、現段階で非常に厳しい中でスタンドを継続していただいている方との協議が大切であり、将来的な課題だと考えている。

#### ブロック塀撤去費用補助について

Q 那賀町内で震度6以上の地震で倒壊の恐れありと判断されたブロック塀は100件以上確認された。補助要綱の具体的な説明と、補助の期間延長を求める。

#### 河井伸夫防災課長

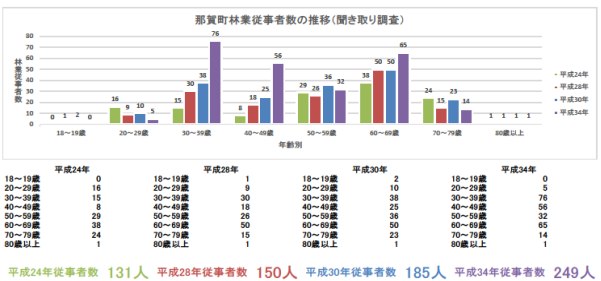
A 今年度限り県補助事業を実施。既に広報10月号折込チラシにて「ブロック塀撤去費用補助」を案内。期限内の申込みは11件なので全員の補助が可能。次年度以降は県の状況を見ながら財政部局と協議し判断したい。

## 那賀町林業就業者数の目標を250人とする根拠について

Q 平成17年就業者数を基準に、増加要因と今後の新規就業者予定数・退職予定者数を図式化して、何年後に達成するのか。

伊藤晴夫副町長

A 国勢調査による町内林業就業者数は平成17年139人、平成27年149人となっている。増加要因は、県林業プロジェクトと飛躍基金による事業量の増と機械の導入にある。目標達成の予測は平成34年見込みとなっている。



## 福永敏行議員

### あいおいこども園・延野体育館・相生中央公民館について

Q あいおいこども園の保育部・幼児部の園舎が道路を隔てて建っている為、保育部増設により一体化する構想や、相生中央公民館も建て替えが考えられていると思うが、現在それらはどうなっているか。

佐々野嘉代すこやか子育て課長

A 保護者会より園舎の増築に概ね賛成のアンケート結果を提出いただいている。工事による安全性の確保等も含め関係部局とも連携し将来的なことも含めて慎重に検討していきたいと考えている。

## 岡川雅裕教育長

A 公民館を含む社会教育施設の調査を実施し、長寿命化計画を立てて検討する。

## 坂口博文町長

A 別棟では「子ども園」としての機能が発揮できないので、保護者会の意見も充分にお聞きし、体育館の件も含め対応していきたい。

## あじさい湖におけるカヌー練習場について

Q 来年のドイツカヌーチームに対する誘致と、今後のカヌー練習場・競技場としての取り組みについてどう考えているか。

## 岡川雅裕教育長

A ドイツの要望を聞き、来年度のキャンプ誘致について鋭意努力する。今後、大会やイベントを開催して活用を図る。周辺の環境整備も企業局と協議している。

## 防犯灯等のLED化について

Q 防犯灯の取り組みについて、現在どうなっているか。また、町管理の各施設の照明器具については、どう考えているか。

## 河井伸夫防災課長

A 今年度は驚敷地区で四電に資料をいただきながら防犯灯台帳を整備し、修繕と撤去を実施。次年度以降に相生から木頭を対象に台帳を整備し、少しずつ修繕等でLED化する予定である。

## 新居宏総務課長

A 町管理公共施設については、年次的に交換することは考えておらず、大規模改修等にあわせて交換している。財政状況により検討したい。



## 連記かよ子議員

### 幼児教育無償化について

Q 平成31年10月より幼児教育無償化が予定されているが、給食費や預かり保育・時間外保育料は対象外となっていることの町の対策と、無償化による町負担分の試算はどの程度か。また、保育園在園児が母親の育児取得時に退園せざるを得ないことの改善策はないか。

## 佐々野嘉代すこやか子育て課長

A 給食費は町費で無料、預かり保育料等は保護者負担となる。保育料無償化による起算は半年分で約250万円と予測。産前産後の保育利用については、産前利用期間を予定日8週間前の月初めとし、育児継続期間は生まれた子の2歳の誕生日が属する月の末日までとする等、利用期間の変更を行う。

## 集落支援員について

Q 平成31年度からの那賀町集落支援員の募集を行っているが、地域おこし協力隊の活動とどこが違うのか。また、何故木頭地区限定なのか。

## 三好俊明まち・ひと・しごと戦略課長

A 協力隊は、資源の発掘や産業振興に関する活動となり、集落支援員は点検や状況把握に努め、話し合い

を促進し集落支援に従事する。また、木頭地区は観光開発事業等により相談等の増加が予想されるための先駆的な導入となっている。



## 柏木岳議員

### 上那賀病院の目指す形態について

Q 現在の人員体制では、これまでの医療体制を保障することは不可能であるが、縮小を視野に入れるのか、それとも体制を守るうと努力するのか、方針を明確に示してもらいたい。

## 池田繁人保健医療福祉課長

A できる限り現状維持と考えており、そのため尽力する。しかし看護師が揃わない状況なら、現場と協議し継続可能な体制を考える。

## 坂口博文町長

A 上那賀病院の救急体制が継続できるように、町として体制整備に最善を尽くす所存である。

## 介護難民について

Q 数年前より特養は介護度3より重度の高齢者しか入所出来なくなったが、過去2年間の特養入所者全数で、介護度が下がった実例を具体的数値で示して欲しい。

## 池田繁人保健医療福祉課長

A 平成27年以降で介護度3から2になった方が6名。そのうち法改正により入所時介護度3以上が原則となったが、要介護1・2の方について特例入所基準要件該当となり、特養に継続して入所中である。

## 部活顧問教職員の負担軽減について

Q 文部科学省は教員負担軽減の切り札として、部活指導員を来年度1万2千人配置する方針である。これを学校魅力向上と併せて、負担軽減を図るチャンスと捉えるが、どのように取り組むのか。

## 岡川雅裕教育長

A 運動部活動の方針により、練習時間を抑え先生の負担軽減を図っている。部活指導員については、学校からの要望により対応する。



### 新居敏弘議員

#### 長安ロダム改造後の操作規則について

Q 改造後も放流の調節率を変えないので、放流量はこれまでと変わらないと思う。町として操作規則の見直しを要望したとのことだが、具体的内容は。

坂口博文町長

A 河川整備計画を戦後最大の洪水規模（9千トンから9千7百トン）に見直し必要な対策を講じると共に、長安ロダムの新ゲートが完成次第、その効果を最大限に発揮できるように操作対応をお願いした。

#### 上那賀病院の看護師不足問題について

Q 看護師不足問題の対策として、①正規看護師の条件から夜勤ができることを外す、②夜勤手当を上げる、③長年勤務しているヘルパーを正規職にする、④ヘルパーも正規・非正規に関わらず夜勤が出来るようにする、以上のことについて町の考えは。

池田繁人保健医療福祉課長

A ①夜勤ができる看護師を求めているため、条件から外すことは難しい。個々に対応してゆくことになる。②財政状況や他との比較も考えての対応となる。③正規職員の採用は競争試験によるものなので難しい。④看護助手の人数が充足し院内の体制が整えば可能かと思う。



### 株田茂議員

#### インターネットサービスについて

Q 町内通信サービスのFTTH化が進んでいるが、残りの計画はどうなっているのか。また、従来の同軸ネットサービスは老朽化が進み所定の回線速度が提供されていないが、料金の割引など考えられないか。

萬木幸男ケーブルテレビ課長

A 効果的な補助金を模索し、順次整備する計画にしている。同軸でのインターネット通信速度は、10メガ・16メガの加入者が増加して混み合う状況となつて低下し、光の整備の必要性を痛感している。しかし速度が遅いことに対する料金割引は今のところ考えていない。

#### 国道改修について

Q 国道195号線、白瀬地区のバイパストンネルについて、県では今年度予算で設計調査費を計上していたと思うが、進捗状況を把握しているか。また、来年度予算増額に向けて折衝しているか。

井本和行建設課長

A 今年度は調査費として2千万円計上されている。平成30年12月末には測量調査を発注予定と聞いている。白瀬トンネルの早期着工は常からお願いをしている。改めて白瀬トンネルの早期着工と予算の増額確保を要望したい。

坂口博文町長

A 知事に折に触れお願いしているところ。議会に対しても無理をお願いすることがあるかも知れない。



国道195号線